



マリアン

第28号

発行

ノートルダム女子大学

同窓会

平成10年4月5日発行

マリアンハウス

京・左京区岩倉幡枝町628

TEL/FAX (075) 701-9149

お役をお引き受けして



会長 高木里美

(3E)

同窓会の皆様お元気でお過ごしでしょうか。同窓会は今年34期生334名の新しい会員をお迎えしました。年々会員数が増え同窓会の輪が大きくなっていくことは、喜ばしいことでございます。昨春、清水の舞台から飛び降りる覚悟で大役を引き受けし、はや一年になろうとしています。皆様に助けていただきながら、無我夢中で過ごしてまいりました。

この一年の間に多くの会員の方々に会いました。同窓会のためにという同じ気持ちをもって、誠心誠意活動して下さっていることを知り感激致しました。どの方も貴重な時間を同窓会活動のために費やしてくださっているのです。皆様との

出合いを通して、ボランティア活動は時間の長さではなく、ほんの少しの時間でも自分以外の人のために働こうというその気持ちこそがボランティア活動の核であると再認識いたしました。今年もそんなお気持ちの皆様との出合いを楽しみにしております。

別頁にございますように、同窓会活動は年々幅を広げ活発になってまいりました。1期生から33期生までの参加者があり、同窓会活動を接点として年齢を越え、お互いが学び合い、親睦の輪を広げておりますことは、大変意義深いことでございます。6月に、今回で二回目となります米国姉妹校からの留学生を、週末ホームステイだけではなく、6月12日から14日にはマリアンハウスでの合宿というかたちで同窓会が受け入れることになりました。浴衣の着付け、箸紙作り、夕食の支度、見学会などを企画中です。一人でも多くの会員の方に参加していただき海を越えてノートルダムの方を広げていきたいと願っております。

昨年11月に中部支部総会、関東支部総会に出席させていただきました。中部支部会は聖書クラス、手芸ボランティア活動等続け、今秋設立10周年を

目次

お役をお引き受けして.....	1
日本人の忘れ物.....	2
美しい絵巻物/第34回総会案内...	3
第33回総会報告.....	4
ありがとうございました...	5
母校の発展に向けて.....	6・7
支部だより.....	8
懐しい集い同期会.....	9
わが町、わが故郷.....	10・11
クラスアクティビティーご案内...	12・13
ボランティア活動報告.....	14
マリアンハウス委員会報告.....	15
本部活動報告等.....	16

題字はSr.セリンにお願いしました。

祝 御 入 会

本年度は、英語英文学科227名、生活文化学科107名が3月12日にご卒業になり、同時に第34期の同窓会員となりました。ご入会を心より歓迎いたします。

学年委員は次の方々にお願いしました。

成徳睦子様・片岡道子様・森川真紀様

日本人の忘れ物



名誉顧問
学長

本多正昭

「水俣病患者が二十年來の願いがかない、東京でチッソ社長らに会えた時のことだ。『永年にわたる惨苦を聞いてくれという思いつめた気持ち』を話す。だが、彼らには伝わらない。

患者の表情に浮かんだのは、怒りよりも戸惑いだった。『学校でなんば習いなはったですか』。『あんたたちは人間のころはわからんとなあ』。そしてつい、『で、何宗ですか』と宗教までたずねる。

最後に患者は『とてもひたむきな、哀しみをたたえた深い面差し』になってゆく……。病に苦しむ人の、何という、心の優しさだろう。

この一文は、石牟礼道子さんのある作品の一節ですが、日本人の忘れ物が何であるのかを、極めて凝縮した形で如実に表現していると思います。

同じ人間でありながら、両者はどうしても「統合」することができない。宗教と科学技術と人間との絶望的な「分離」の病いが、まざまざと表現されています。

このような事態は、さらに過去に溯って考えると、明治以来、西欧化・アジア武力支配・反宗教教育等をがむしゃらに推進してきた日本近代史そのものに起因しているのではないのでしょうか。

日本人は今、科学技術の独走による自然破壊・人間性疎外という危機的な状況に悩まされており、すべてをもっと全体的に連続的に見直す必要に迫られています。

日本人の「忘れ物」―それは、人と人、人間と自然、科学と宗教、日本とアジア近隣諸国を「結ぶもの」、即ち東洋の宗教的伝統に底流する「連続観」の再発見ではないでしょうか。



総会への御案内

懇親会ミニコンサート 出演者御紹介



福永吉宏氏 (フルート)
京都バウハザリステン
主宰・指揮



福永圭子氏 (歌)
京都バウハザリステン所属



藤井いづみ氏 (ピアノ)
京都バウハザリステン所属

日時 五月十七日(日)

午前十時半受付
午後二時半まで

午前十一時総会開始

場所 京都宝ヶ池プリンスホテル「高砂」

TEL 〇七五-七二二-二二二

会費 大人 七、〇〇〇円

子供 一、五〇〇円

(ベビーシッター有)

おめでとうございます

左記の学年が祝周年を迎えられます。

三十周年	四期生
二十五周年	九期生
二十周年	十四期生
十五周年	十九期生

美しい絵巻物



顧問
英文学科教授

Sr.セリン松本

最近、世紀末的現象が続出しています。無差別暴力の横行、事故による災害、倫理観の喪失、孤独死、いのちの粗末な扱い、地球環境破壊や汚染による異常現象。また、時代の推移に伴う体制の抜本的な見直しやリストラ、繁栄と不況、進歩と後退の相矛盾する状況や価値観の変化など。人々は不安、疎外感に悩まされたり、自己中心や無関心に陥り、相互依存しあう共生きることの意味、喜びを見失いがちになっています。

ともすれば、私も暗い気分におちいりそうになっていたある時、中華料理の会食でフォーチュンクッキーをいただきました。可笑しなもので中に入っているのは、たかが紙切れだとわかりながらも、それを割る時、一瞬、願いをこめるものです。私のクッキーの中からは「普通のことに美を見つけないさい。この能力を失わないように」と出ました。まさに「当たり前！」で、それは私がつい忘れ

ていたことでした。その時、マザー・テレジアの次のことばも思い出したのです。「私たちが、日常のいろいろな出来事の中に働かれる神の導きの手を理解することが出来れば、それらの出来事を違った目で見、どのように使っていけばよいかわかるでしょう。」(書簡五二三五)

物事は同じことでも、観点、意向を変えることによってプラスにもマイナスにもなります。毎日の出来事の中に神の摂理を見、ごく当たり前の日常的なことに美しさを発見する心と意力を失ってはならないということなのです。厳しい自然の中で、全く枯れてしまったかに見える枝も春には芽吹き、美しく花が咲くのだという希望に賭けて、日々を生き続けるのだと教え励まされました。

一九九八年はノートルダム・シスター来日五十周年にあたります。この間、大学だけでも八千余名の卒業生を社会に送り出しています。年末年始の皆様のカードや年賀状に、一言添えられていた言葉は、神からいただいた恵みに支えられて懸命に生き、それぞれの生活に感動や喜びを見出しながら、家庭、職場、地方共同体で貢献していっていることを語っておりました。それらの物語の一片一片をもし全部繰り合わせるなら、きっと色とりどりの美しい絵巻物となるに違いありません。この記念すべき年にあたり、五十年間のノートルダム家族の歴史のどの頁に、どのような自分の物語を記せるかを振り返ってみませんか。そうすれば、慈しみ深い神の導きがあったためわかり、この世紀末に希望の光がさし、新世紀を迎えるための示唆が得られるかもしれませんよ。

第34回 同窓会

同窓生の皆様へ 片岡 温子 (17C)

皆様、こんにちは。17期生の阪田、松岡、片岡です。この度、総会の第二部、エンタテインメントを担当させて戴くことになりました。今年度は、縁あって「京都バハ・ゾリステン」オーケストラから、主宰者の福永吉宏さんご夫妻と藤井いづみさんをお招きして、歌とフルート、ピアノの三重奏をお楽しみいただくことになりました。

オーケストラの演奏と耳にすれば、何かしら堅苦しい印象になりますが、今回は数多くのレパートリーの中からちょっと趣向を変えてもらい、プロに歌ってもらえば、あの曲がこんなにも感じが違ってしまふというところを、たっぷりと聴かせて頂きます。

野々神町の学舎から卒業して以来、社会人として、母親として毎日忙しくご活躍の皆様、せめて今度の同窓会総会の時だけでも、女子大生だった頃にタイムスリップして懐かしいお友達と談笑しながら一時をすごしてみませんか。演奏時間にしてみればたったの30分間ですが、きっと満足してもらえること、まちがちなしです。

また、恒例の「ミキモト」の景品が当たる福引きが総会の最後を飾ります。どんな品物が景品になっているかは当日のお楽しみです。

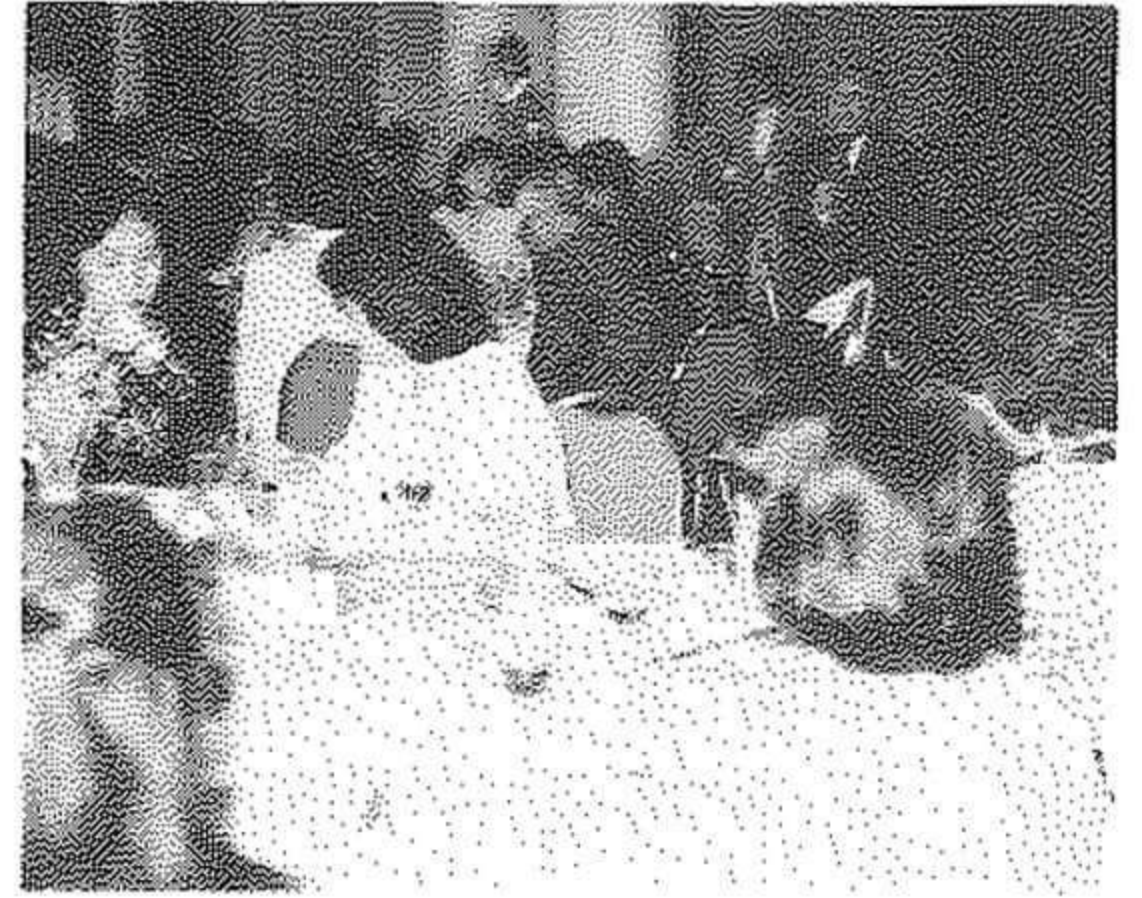
卒業以来、ND女子大とはすっかりこぶさたという方、是非、お友達とお誘い合わせの上昔話や現在の事などベチャクチャ花を咲かせにご遠慮なくお集まり下さい。お待ちしております。

第33回 総 会 報 告

ノートルダム女子大学同窓会総会
1997年5月18日(日) 都ホテル「葵殿」
総 会
開会の辞 11:00
黙禱
会長挨拶 家村 悦子
議 事 1996年度活動報告
1996年度会計報告
マリアンハウス管理
運営委員会報告
承認事項:
☆1997年度予算案
☆新会長
新会長挨拶 新役員の紹介
関東支部長挨拶 後藤礼子
中部支部長挨拶 森本朗子
名誉顧問ご挨拶 本多正昭学長
顧問ご挨拶 シスターセリーン
記念学年紹介
.....総会終了.....
懇親会
*乾杯
*招待者ご紹介
*メイソン フローレンス氏の講演
(16期担当)
*その他
ノートルダム女子大学学歌斉唱 14:30

青葉薫る5月18日のよき日に都ホテル葵殿で33回目の総会が開催されました。十四名のシスター・先生方をお迎えし、同窓生百三十名が集いました。委任状は千七百八十通いただきました。左記の総会プログラムにそって議事が進行され、新会長に三期生高木里美さんが承認され、続いて新役員として次の方々が承認されました。

副会長	高木 里美 (3E)
書 記	白井 君子 (1E)
会 計	家村 悦子 (4E)
庶 務	久萬田 澄子 (1E)
監査	松本美佐代 (3E)
小 計	小笹 依子 (6C)
小 計	小 亀 峯子 (3E)
小 計	今井喜代子 (3E)
小 計	荒瀬 忠子 (4E)
小 計	稲葉 芳子 (4E)
小 計	柿谷 初子 (6C)
小 計	来田村幸子 (6E)
小 計	マリアンハウス運営委員
小 計	中島 克子 (1E)



収 入 の 部		支 出 の 部		
費 目	決算額	費 目	予算額	決算額
前年度繰越金	20,260,014	総会費	600,000	445,731
終身会費	8,610,000	マリアンスカラシップ	1,000,000	1,013,000
資産運用益	174,796	マリアン発行費	1,500,000	1,279,641
マリアンスカラシップ返済金	0	卒業記念費	500,000	479,422
クラスアクティビティ参加費	99,000	クラスアクティビティ	1,000,000	770,000
名簿代金	110,820	支部活動・援助費	450,000	364,000
		会議費	400,000	259,307
		交際費	200,000	127,258
		通信費	200,000	241,741
		事務費	200,000	202,468
		マリアンハウス運営費	2,000,000	2,000,000
		小 計	8,050,000	7,182,568
		次年度繰越金		22,072,062
合 計	29,254,630	合 計		29,254,630

平成八年度 会計報告

自 平成8年4月1日
至 平成9年3月31日

『お役を終えて』

多羅 晶子 (16E)

今年の懇親会企画は、いつもながらの限られた予算の中で、いかにして同窓生の皆様にも一体感を得てもらえるかという所に苦労と工夫を重ねました。結果考えたのが、私の友人であるフォトジャーナリストのメイソン・フローレンスさんにスピーチをお願いし、スライドによるビジュアル表現により、同窓生の皆様にも興味を持って頂けるように工夫致しました。英語でのスピーチの為、通訳者についても私自身が担当することで、コスト削減と同時に最後まで会の運営を、責任を持って行うことができました。なにしろ、手作りの講演会なので、スピーチの内容と構成、スライドの選定、それらに合わせたBGMの選曲等々、講演者のメイソンさんと通訳者の私とで幾度となく打ち合わせをくり返しました。結果、同窓生や先生方の心との一体感を感じとれる会ができました。今までになかった試みで、成功するかどうか、不安もありましたが、とにかくチャレンジ精神の下、誠意を持って全力で投球したのがよかったと思います。これから御担当の方も、どんな新しい試みにチャレンジしていただきたいと思います。



ベトナムの子供たち (スライドより)

Good Luck!!

ありがとうございました

市川康夫先生に生理衛生学、育児学を、阿部先生に外国文学、仏語を、各々御教授頂きましたが、今年三月でご退官になりました。両先生から御退官にあたり、胸に去来する思いを、こゝにお寄せ頂きました。思い出を懐しく分かち合せて下さい。

『一隅に照る』

教養共通学科 阿部 哲三

道元の箴言のひとつに「一隅に照る」というのがある。永い間、私は迂闊にもこれを「一隅を照らす」と間違えて憶えていた。この誤りは重大である。「照らす」は「一隅」をその直接目的語とする他動詞、これに対して「照る」は目的語を持たない自動詞である。しかも「照らす」より「照る」が先である。自らが「照る」ことなしに他を「照らす」ことは不可能だから。（慥かに自動詞は他動詞に先立っている。最初に習う英語の動詞は自動詞 to be であり、そのあと他動詞 to have と進んでいく。この順序を逆にするのは奇異である。）

いま自動詞を、何も無い透徹した天空を仰ぎ見る垂直の視座とするならば、それを水平に倒して右顧左眄する処に他動詞が生まれてくると言えるのではない。次のように譬えてもよい。噴水の水はただ只管無目的に高く上がろうとする、それはもう愚かにみえるほど。だが、その力が有ってこそ、消火とか撒水といった目的を果たすホースの水が、はじめてあの拋物線を描くことができるのではなかったか、と。この比喩をなお続けるな

らば、人の一生とは「幼年」なる噴水に始まり、撒水で活躍する「青年、中年」を経て、再び「老年」の噴水に還ること、と言えるだろう。なぜなら、東奔西走に明け暮れる「青年、中年」は目的、計画ではち切れているのに対して、幼児は目的を持つには幼な過ぎるし、老人は全ての計画を徒事にする死を目前にしているのだから。

私はこの三月末で古稀を迎え定年退職する。半世紀近くの間、親しんできた教壇という舞台から、またその楽屋である研究室から姿を消す。他動詞の世界から自動詞のそれに回歸する秋が来たようだ。一隅に点された蠟燭の一穂の焰、これが今後の己の在るべき姿の隠喩と心得ている。そうなるためには、一生の終着駅に微笑みながら独り立つ、という貴い位置の力を身に付けていなければならぬ。というのも、ここの「一隅」とは間もなく己れの全身、全存在を呑み込んでしまう闇の深淵の口元にほかならないのだから。

「一隅に照る」、この言葉を座右の銘として一日一日を生きるうちに、残り少ない己の灯芯の燃え盡きることを祈願してやまない。

十二年間の反省

教養共通学科 市川 康夫

十二年前、精々四、五年の間と思ってお世話になったのが、何時しかこんなにも長く勤めさせてもらいました。大過なく、とはいえ、中過小過は枚挙に暇なく、恥ずかしい限りです。老人は出来る限り雑務を引き受け、その分、若い先生方に勉

強の時間の余裕を残すよう心がけるべきだ、と恰好よいことを考えはするものの、現実にはむしろ若い方々の足を引っ張る側に立つことの多かったことを顧みて、忸怩たる思いにとりつかれているこの頃です。

理科系それも研究所育ちの私には、この女子大生の志すところ、そのみか正直言って、先生方が生涯かけて何を目指しておられるのかさしかとは理解できないまま十二年間を過ごしてしまった、そのことを済まないことだと思っています。最高の思い出は、八年間顧問を引き受けていた本校合唱団の諸君との心の交流です。毎年三十人余の小さい集団とはいえ、それなりのドラマがありました。研究所では学べなかった多くのことを学び、何人かの「ベアトリーチェ」とも出会えたことは無上の幸せでした。彼女達は今、私に「外孫」の顔を見せに立ち寄ってくれます。

「溢れ出てくるもの」、そして「求めて止まない心」、先ず教師の側にこの二つが備わっていないと教育など成立しないのでしょね。私の反省です。

祝・ミッション50周年

一九四八年、ノートルダム教育修道女会のアメリカ人シスター四名が来日、カトリック精神に基づく子女教育の礎を築かれ、今日のノートルダム学園の輝かしい発展を迎えるに至りました。

生活文化化学科から

生活文化化学科のめざすところ

生活文化学科主任 枡田 庸

生活文化学科といえば、シスター テレサマ
ーガレットの調理実習を思い出す人が多いと思
いますが、創設時の生活文化化学科は女性として
よりよく生きていくための教養を身につけるこ
とを第一目的としていました。そのような考え
方のもとに、良き家庭婦人（良妻賢母）の育成
にシスターは力を注がれ、家庭生活で大切な食
衣の実習がおこなわれたのです。従って、カリ
キュラムも必修の授業を中心に画一的なもので
ありました。しかし、次第に時代が変わり、人々
の要求する教養というものの考え方も多様化、
個性化するようになりました。

大学で得られた力を社会に還元したい。自分
の持てる能力を社会で確かめてみたいと、大勢
の人が望むようになりました。そこで、生活文
化学科では、できるだけ必修を少なくし、個性
に合った勉強ができるよう、現在まで何回かカ
リキュラムを変更してきました。先ず、生活文
化というものを理解してもらうため、着る（服
飾造形学、服飾環境学）、食べる（食物科学、
食生活文化論）、住む（環境文化史）、生活を営
む（生活経済学）、生活を豊かにする（美術史
学）人間を理解する（心と社会、心と行動）の

9種類の科目を1、2回生で必修とし、自分の
個性にあった勉強の糸口を見つけてもらうこと
にしました。

そして、生活文化化学科では、4年間で自分
に何ができるのか、自分の持てる能力を十分に
のばす教育を教員一丸となってやってみていま
した。しかし、個人の能力の開発には、当然個
人指導が必要となり、教員の負担も大きくなる
のですが、少人数教育ということが、生活文化
学科の目指すところとがんばっています。よく
学科会議では個人の学生の名前が出て、全員で
教育法を考える時もあり、特に問題児は学科の
すべての先生が知っていることになりました。

3回生からのゼミ分属、卒業研究は先に述べ
た、学生の個性、能力の開発、育成という目的
がありますので、当然、学科の中心となる大切
な科目（生活文化化学科特論、卒業研究）であり、
これを必修とし、他の科目をすべて選択科目と
し、ここでも自分の能力を伸ばしてもらうこと
にしました。

現在、生活文化化学科の卒業生の社会での活躍
は幅広く、国立大学助教、私立短大助教、博
物館館長、アパレル会社の企画、食品会社の研
究員、お茶、お花、書道の先生、アナウンサー、
やわらかいところでは吉本興業の芸人の付き人
をして、最近ジミー大西と結婚した人等々、卒
業生が持てる能力を十分に発揮し、生き生きと
人生を送ってくれることを教員一同望んでいま
す。

この数年間の就職先の概要

- 製造業：**アサヒ／キンビール、サントリー、宝酒造、三菱／石川島播磨重工、NEC、オムロン、
住友電工、竹中エンジニアリング、モリタ、三菱自動車、村田／島津／堀場製作所、村田機
械、ローム、タキイ種苗、帝人、川島織物
- 商社他：**伊藤忠／住友商事、三井物産、市田、オンワード樫山、グンゼ産業、デサント、京都西川、
吉忠、ライカ、レナウン、レリアン、ワコール、JR西日本、伊勢丹、近鉄百貨店
- 金融：**（銀行）あさひ／京都／滋賀／住友／住友信託／大和／東海／富士、京都／京都みやこ信用金庫、
（保険）朝日／第一／日本／三井／明治／安田生命、住友／東京／三井海上火災
- 運輸他：**全日空、日本エアシステム、JAL、ノースウエスト航空、JTB
- サービス業：**大阪全日空／大阪ヒルトン／京都／京都グランビア／京都新阪急／京都センチュリー／京都
全日空／京都ブライトン／ハイアットリージェンシー大阪／阪神／プリンス／都／リーガロ
イヤルホテル、ホテル日航大阪
- その他：**朝日放送、神戸新聞社、電通、博報堂、官休庵、今日庵、不審庵、中高教員、公務員多数

英語英文学科から

英語英文学科の現状と将来

英語英文学科主任 松井 千枝

十八才人口の減少に伴い、私学の受験者が減る状況の中で、私達は、魅力ある学科作りをめざしてまいりました。

まず、数年前に、カリキュラムの変更を行い、出来るだけ必修を少なくし、学生が自ら選べる選択科目を多くいたしました。「英米文学」「英語学」「コミュニケーション」の三分野の壁をとり、各々の分野での必修をなくしたのです。つまり、一回生では、英語講読演習、LT、LS、英作文、三分野の入門、二回生では、英語講読演習、LT、英作文、三回生ではゼミ、四回生では卒論だけが必修となり、他はすべて選択といたしました。(ただし、教職課程をとる場合は、必修は今まで通りであり、コンピュータが使えるようになる科目も全学生必修です。)

一・二回生で基礎を充分身につけながら、二回生の早い時期から専門分野に入りますので、個々の能力がのびのびと開花され、幅広い物の見方のできる人間形成が行われると思っております。学生が自分の関心に基づいて三つの分野にわたって広く学ぶことも、また一つの分野を深く掘り下げていくこともできるわけです。

同時通訳、時事英語、ビジネス英語も新たに

開講され、学生の多様なニーズ、幅広い選択に答えようとしております。

その結果からでしょうか、昨年は東大の大学院、今年は京大の大学院に現役で合格入学した学生がでてまいりました。

今までの三分野に加えて、新たに「実践英語」「英語文化」「英語による日本文化」の三分野を設けようと計画しております。つまり、「同時通訳コースの充実、TOEFL・TOEIC対策」「世界の英語圏の文化」「日本語教師養成、通訳ガイド」などが検討されております。いずれにしても国際人としての教養を身につけ、世界に生きる人間の育成をめざしております。

従って、就職状況も良いようです。

我々の大学には、アメリカに姉妹校が三校あり、昨年は十数名の学生が留学いたしました。一年間留学で単位互換を行っておりますので、留学しましても留年せず、四年で卒業できます。また、短期留学としては、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリアの大学があり、二単位が与えられます。

少人数教育などの良き伝統を守りながら、教育内容の充実をはかり、これからの厳しい状況を乗り切っていこうと考えておりますので、卒業生の皆様にもぜひ積極的にご助言をいただき、新たな飛躍をしたいと願っております。

永年、学科のため、特に教職課程で尽くしていただいた山田国夫先生が残念ながら退職されましたので、その後任に四月からバイリンガリズムを専門にする先生が着任されました。

就 職 部 か ら

就職部長 半田 稔

同窓会の皆様には本学のためにご支援とご配慮をいただき、心から御礼申しあげます。また皆様が広い分野で活躍されている事につきましても、心強く敬意を表します。

バブル崩壊後、就職は厳しい状況ですが、本学では良好な実績をあげております。学生の期待に応えるために、就職部では一回生からガイダンスを始め、きめ細かい就職指導に努めております。皆様の一層のご支援をお願い申しあげます。

就職協定廃止後の本年の就職戦線は早期化・長期化・多様化といわれ、多少の戸惑いもありましたが、一月現在ほぼ終了致しました。

昨年と比べると大企業への内定が増加し、好結果となりました。

平成9年度在学生出身地

カッコ内は人数を示す

北海道 (4)	富山 (4)	山根 (6)	島根 (6)
岩手 (1)	石川 (12)	岡山 (13)	岡山 (13)
宮城 (4)	福井 (6)	広島 (13)	山口 (9)
山形 (1)	岐阜 (7)	山徳 (6)	川媛 (7)
福島 (2)	静愛 (16)	知重 (27)	高岡 (8)
茨城 (1)	三都 (55)	阪庫 (83)	佐賀 (1)
群馬 (1)	滋京 (55)	大兵 (55)	奈良 (1)
埼玉 (2)	大和 (26)	奈良 (14)	歌山 (6)
千葉 (3)	鳥取 (6)		
東京 (3)			
神奈川 (2)			
山梨 (1)			
長野 (3)			
新潟 (3)			

支 部 だ よ り

中部支部長 森本 朗子(2E)

昨年十一月十一日、シスター・セリオン、本部会長高木里美様、同副会長家村悦子様をお迎えし、会員三十名弱の参加で、名古屋駅に近い料亭で、総会並びに親睦会を開催致しました。

総会は例年通り、大した問題点もなくサラッと終り、その後の親睦会は和食をいただき乍ら、楽しい歓談の一時を持ちました。十四期生幹事さんの進行のもと、一人一人が大学で過ごした青春の思い出、近況など、

個性豊かな話術で語られ、

感心するやら驚くやら、笑いを誘って頂き、時間の経つのも忘れる程でした。学

生時代の楽しかった、あるいは苦しかった思い出はず

っと色あせる事なく、心に深く刻みこまれ大切になさ

っていますし、卒業後、夫々の立場で意義ある活動を

続けていらっしゃる事を互いに確認出来、お互いの会話の中で、より深く

知り合え、より親しくなりました事を感謝しております。この中部支部にも、外に向けて、は

ばたいていらっしゃる素晴らしい人材が沢山いらっしゃる事、ノートルダム女子大学同窓生と

して心強く嬉しい限りです。私には色々刺激され、又活力が湧いて来そうな有意義な一日でした。



関東支部長 後藤 礼子(10C)

二年前に支部長をお引き受けしてから、どのようにすれば楽しい関東支部になるかを考えながらやってまいりました。

昨年11月新横浜プリンスホテルに於いて開催しました関東支部同窓会は、約100名の参加者を得て盛大に実施することができました。

阿部先生、榎田先生、シスターメリーグレイスのお話を拝聴し、食事を楽しみつつ、友情

を深め、また琴(演奏者...10E 光成文子様)と

尺八の演奏に感動し、学生時代に戻った気分で一

日を楽しみました。家庭に入られた方、職

を持たれた方等のいろいろな経験、考え方をお伺

いし、見聞を深めるとともに新たな刺激を得たこ

とは、有意義であったと感じております。



同窓生の「琴の演奏」につきましては、出席された皆様方から賛辞の声が多数あり、好評を博しましたことを申し添えておきます。

最後になりましたが、関東支部の円滑な運営と楽しくまた意図したとおりの同窓会が実施

できましたのは、本部の会長様、他役員の皆様や、各学年委員の皆様及び会計佐藤留美子

様の御協力並びに10期生皆様の御支援の賜と深く感謝致しております。

これからも、ノートルダム女子大学同窓会発展のため皆様の御協力を宜しくお願い致します。次期関東支部役員は、次の方々が引き受け下さることになりましたので御紹介致します。

支部長 11期生 十河 温子様
会計 11期生 土屋 紀子様

4期生 30周年集いのご案内

卒業して今年ではや30年を迎える私達。この時期にきて自分を振り返り自身を整理する方、人生はこれからと花を咲かそうとする方、いいえもう限界と身体をいとおしがつておられる方...ぜひ御出席を。世話人一同お待ちしております。

H10年11月14日(土) PM11時 京都ホテル
詳細は後日ハガキでお知らせ致します。

世話人 長谷川、伊藤、鎌田、信田

13期生20年振りの再会

中田 由利子

昨年マリアンでよびかけて総会出席後、二十周年を祝し十五名の出席によりティパーティーを開きました。二十年振りの再会もあり感激のなか近況を話しました。学生生活を懐かしむと共にその年令に近づいてきた各々の子どもたちへの思いを語り合いました。リフレッシュできた爽やかな時に感謝し二〇〇二年に卒業二十五周年同期会を約束して散会しました。



お祝いに総会でバラをいただいて

3期生、30周年を祝う

同窓会に出席の方々に、本部よりアンケートを依頼、左記解答を頂きました。紹介致します。御協力ありがとうございました。

解答数(23/42)

(一)、現在最も関心のあること(社会問題、家族問題：etc)

老人問題 夫婦の老後 家族の絆(子の結婚、教育) 環境問題 税金 臓器移植 日本の将来

(二)、次の項目について今思っていること

●結婚観 してよかった(9) するべし(2) するもよし一人でいるもよし(2) よくなかった(2)

自身の幸福感には関係ないが、社会的偏見は大きい。人間として成長出来たと思う。一度はするものですね。

●今後の人生設計(老後、趣味、夢)

自分自身が豊かになって周りを幸せにしたい(4) 旅行(3) ボランティア(2) 海外移住。夫婦同じ趣味を楽しむ。適度に仕事をする。医者 看護婦 まかない付老人ホームをつくる。

現在設計通り進行中。

●現在嬉しいこと、悩み困っていること

健康であること 友人に恵まれていること 趣味をもてるようになった 仕事があること 老親との生活及び介護 体力の衰え お金がない 娘の結婚観

(三)、最も嬉しかったこと、悲しかったこと

近親者、友人、愛犬の死(1) 子育てを楽しんだこと(8) 親の面倒を十分見られない 自分の思いが人に通じない 悲しかったことが今の自分を育ててくれた 子供が希望通りに進学出来たこと 仕事を持っていること 何げないことで喜ばれたこと 旧友との語り合い 沢山あり今後も期待

(四)、先輩、後輩への一言

★何事にも懸命に汗して生活し、自分がそれに納得できれば良しの暮しをしてほしい(3) ★グローバルな視点をもって未来を見る人生を考えて欲しい(2) ★助言する資格なし(2) ★今になってつくづく人と人の信頼の大切さを感じる★今迄男性が独占してきた世界を共有出来るよう、確実に来ている新しい時代の担い手である女性一人一人が努力してほしい ★結婚は人生の墓場という人もあるが、人間一人では生きられないので、是非良いパートナーを見つけて幸せに★出会いを大切に、ご縁から思わぬ新しい人生が開けることあり ★外見でなく生き方であることを社会生活を通じて学んだ★どんな環境にあっても、各々良さがある、人生泣いても笑っても自分の考え方次第、楽しい方へ心がけ良い人生を！★誰にでも苦難はある、その時にこそ逃げずに乗り越えること★心を教える教育をしてほしい★よく遊び、よく学び、よく悩みなさい★楽しく生きていければ、最高!!

7期生 第6回学年会をしました!

西尾 佳子

確か前回の学年会の時、次回は平成十年に、という話だった。それが二度の試食会で待ちきれなくなり、九年十一月九日に繰り上げて開くことになった。これまでは京都での開催だけだったが、趣を変えて大阪でということになり、在阪の我々がお世話させて頂いた。

場所変えは不安だった。果たしてどれだけの出席があるのだろうかというのが最重要点だった。それが三十七名という前人未踏の人数を達成したのだ。お陰で財政は豊かになり、初めての抽選会など大いに盛り上がった。

美味なる食事は、昔、勉強が出来た人も、それなりだった人も、余り親しくなかった人達をも打ち解けさせてくれた。

その後、水上バス、大阪城散策、もっと喋る組に分かれ、再び集合。長々と尽きない談話を満喫した。次回の幹事も決まり、まずは一件落着。遠方よりの御出席に拍手。

最後に、良き会を生んでくれた母校に深く感謝!!



だより ―わが故郷―

室蘭からの便り 西村 佳子 (4E)



幻想的な霧のトツカリシヨ

私の住んでいる室蘭は、皆さんご存知の登別温泉から車で40分のところにある鉄の街です。と言っても、ご多分にもれず、不況の風が吹きまくり、勤め人も経営者も大変な毎日を過ごしています。

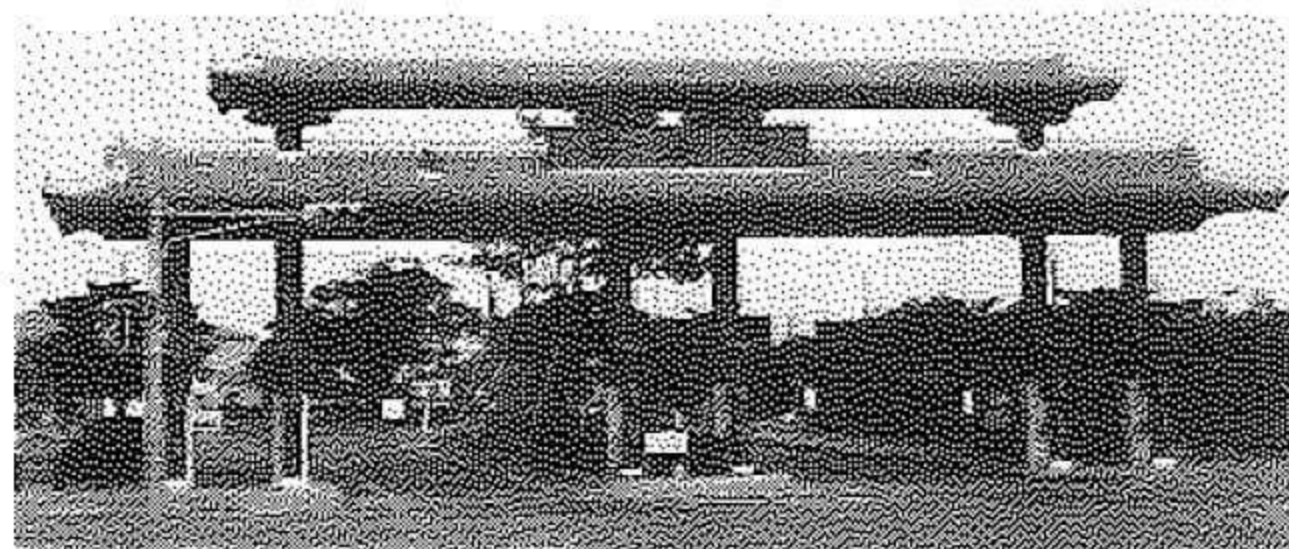
ところが、よく考えてみますと、バブル全盛の

頃も残念ながら、この小さな町はそんなに好景気に浮かれることに縁がありませんでした。で、冷たい風に慣れたこの土地の者には、頑張り続けていけば何とか暮らしていけるのを身にしみえています。

どんな時にも、身の回りの良いところに目やあって、楽しく暮らすのがこんな時の知恵でしょう。その点、室蘭は沢山の温泉に囲まれ、新鮮な海や山の幸はもちろん、スキーも釣りも……都会を味わうには車で一時間半の札幌があります。

若い人には少々物足りなくても、中高年にとって大いに便利で住みやすく、たまに入浴料500円の温泉に浸りながら、極楽々々!!

沖縄からの便り 宮城 理恵 (23E)



こちら南の島沖縄本島では、今年は半袖で迎える新年です。そろそろ、日本一早いお花見として緋寒桜の花見も迎えます。

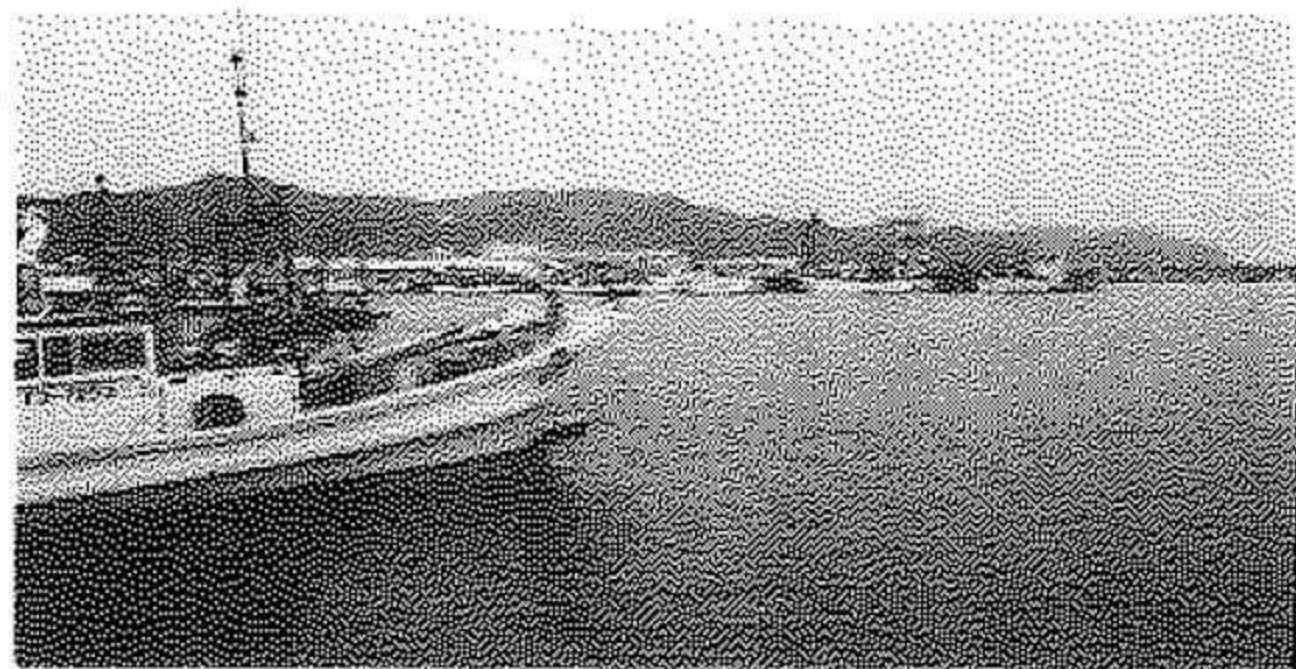
沖縄には四季の変化がないという印象はないでしょうか。確かに目に見える変化は少ないのですが、地域や人々に深く根付いている行事やお祭り

を通して沖縄独特の四季が楽しまれているようです。現在も、豚肉や昆布をふんだんに使った沖縄料理、三味線や太鼓の音色が魂に響くような音楽や舞踊 数え切れない多くの伝統文化が新鮮さを保ちつつ受け継がれています。

また、一方ではアメリカやアジアの文化にも直接触れることのできる土地柄上、それらの衣・食・住文化が混じり合った新しい独特の文化ができ上がっています。大らかでエネルギッシュな沖縄の人々そのものという気がします。

まだ知っていない沖縄の魅力を一つずつ探っていくのが楽しみです。この町をわが故郷と呼ぶ日もそう遠くはないのかも知れません。

境港からの便り 佐々木 康代 (31C)



境港

鳥取県境港市は、小さいながらも独特の力を持ったバイタリティある町です。日本海側の田舎町というと、ひなびた薄暗いイメージを持つ方が多いようですが、鳥取県西部地方は古来、港を通じて他国との往来があり、意外に開放的な気質を持っ

ています。夏はマリンスポーツ、冬には国立公園大山でのスキーと、県内外を問わずレジャー客が余暇を楽しめる所です。又、冬には松葉ガニを求めて観光と水産物の買い物を兼ねていらっしゃる観光客も少なくありません。97年は、FAZ・対岸交易の推進を目指して開催された山陰夢みなと博も予想を上回る大盛況のうちに幕を閉じました。博覧会跡地では、毎年ミニ博覧会を開催する構想があるようです。地方にはその地方独特の文化があります。外国や、大都市の単なる模倣が必ずしも良い結果を生むとは限りません。山陰の美しい千変万化する空、緑豊かな町並みがさらに魅力を増す都市計画の今後を期待して止みません。

イタリア・ミラノからの便り

勝屋 寿佳子 (17C)



チャオ！ミラノからこんにちは。夫の転勤に伴い3人の子供達と共にミラノで暮らし始めてちょうど一年が経ちました。

こちらは今サルディ（セール）の真っ最中です。ミラノといえばファッション。感心したのは、ミラネーゼ（ミラノっ子のことをこう呼びます）のおしゃれなことおしゃれなこと。老いも若きも男も女もとにかく『きまってる』のです。スカーフのあしらい方、マフラーの結び方、お肉屋さんのおじさんのベレー帽、おまわりさんの革ジャン、市電の運転手のダブルの

ロングコートなど、すべて何気ないのにさまになっているのです。そして、何といたっても色使い。黒や茶系の意外と地味な色が好まれるのですが、普通のおばちゃんのはっと目の覚めるような色のスカーフをして、それがまた似合ってるなんて光景をよく目にします。確かにみなさまスタイルがいい、パンツはすべて細身でスカートもタイトがほとんど。真冬だというのにミニスカートにタイツにパンプスなんていう格好もよく見かけます。

でも、素敵に見えるのは、スタイルがいいからだけでもないようです。十分太めのおばさまもそれなりに見えるのは、どうやら姿勢がいいからかしら。背筋をしゃんと伸ばし、堂々としているとそれだけで格好よく見えるようです。私もミラノマダムをお手本に颯爽と歩いてみたいと思います。

コロンビア・ボゴタからの便り

Atsuko Fujimoto de Duque (18E)



皆様の多くは「コロンビア」というと、熱帯の国という印象をお持ちではないでしょうか。確かに太平洋に面した西側、カリブ海に面した北側の海岸地帯などは熱帯性の気候ですが、国土の40%がアンデス山脈に占められている為、海岸地帯から3,000m以上の山岳地帯まで土地の高さによって幾つかの気候に分かれています。

私が住む首都のボゴタは標高2,600mに位置し、一日の平均気温は15度前後です。こちらには四季がなく、雨期と乾期が2～3カ月ごとにおとずれます。冬がないので一年中花が美しく咲き、たとえば今わが家の庭には、椿、すみれ、つつじ、あやめ、紫陽花、ポインセチアやブーゲンビリアが咲いています。

ボゴタから北の高地へ2～3時間車を走らせると温泉が楽しめます。反対に南へ少し進むとすぐにバナナややしの実畑が広がり、いつでも真夏のような日差しのもとで泳げます。こちらの人々は好みの気候にあわせて、週末の行き先をきめます。

タイ・コクーンからの便り

Klongkloy 小百合 (24E)



タイでは通常共働きなので、妻が食事や家事を義務づけられることなく、出来合いのおかずや外食で済ませることも日常と

なっている。主婦の私としては大助かりである。ただ、意外にもアイロンがけが重視されていて、ワイシャツからズボン、Tシャツ、時には下着に到るまでピシッと折り目をつけることが望まれる。社会的地位の表れであるそうだが、なかなか

骨の折れる作業と言える。

一方、老若男女を問わずタイ国民は子供好きである。結構なことであるが、伺いもなく子供を抱っこしたり、匂いを嗅ぐのを見るといい気がしない。その上「お出かけ」と言って抱えて連れて行ってしまうこともある。

タイでの生活はまだ年月が浅く、言葉や習慣の違いから喜怒哀楽の日々である。しかし、物事にこだわらず、毎日を楽しく過ごす「サバーイ」の生活様式も「郷に入っては郷に従え」と言われるように、慣れると快適なものだと内心気に入っている私である。

ビティーご案内

クラス	講師	内 容	場所・日時	責 任 者
英文雑誌 の 講 読	シスター セリン	タイム誌などによる現代問題等の 英文和訳と内容についての討論 (日本語で行われる)	マリアンハウス 第4月曜日 10:30~12:30 5月25日より開始	立花あかり子(9E)
聖 書	シスター セリン	聖書を英語で読む	マリアンハウス 第4月曜日 13:00~15:00 5月25日より開始	宮井 順子(3E)
文学講読	シスター モーリンプリカー	文学作品についての講義と、内容 についての討論 (英語で行われる)	マリアンハウス 第2・第4火曜日10:45~12:15 5月12日より開始	中田記美江(7E)
英 会 話	シスター ジョーンシュミット	タイトルを決めてスピーチ、フリ ーカンパセーション、能力に関係 なく楽しく勉強できます	マリアンハウス 第1・第3木曜日10:30~12:00 5月21日より開始	中元可津美(18E) 萩原 道子(18C)
書 道	寺田九緒	書道具持参	マリアンハウス 第1・第3水曜日10:30~12:00 5月6日より開始	林 満智子(3E)
仏 語	阿部哲三	能力に関係なく楽しい授業です	ND大学ユニソン会館 同窓会室(3階) 第1・第3火曜日10:30~12:00 5月19日より開始	家村 悦子(4E)

手芸ボランティア	手芸品製作(売り上げ金はインド ・ネパールへ寄付)	マリアンハウス 第1・3金曜日 10:00~15:00 5月7日より開始	小永井宏子(4E)
----------	------------------------------	--	-----------

日本文化研究会	研究会、見学会など	マリアンハウス 第3月曜日 10:30~12:00	森 美都子(9E) 山本 純子(1E)
---------	-----------	------------------------------	------------------------

マリアンハウス カルチャープログラム	'98年6月17日(木) ステンドグラス製作(ナイトライト) 9月 シャドウボックス製作(立体ペーパークラフト) 10月28日(木) オープンハウス(バザー・展示・喫茶) 11月 フラワーアレンジメント '99年2月 料理 その他講演も予定	詳細は マリアンハウス (075)701-9149 までお尋ね下さい
-----------------------	--	---

＜中部支部＞

聖書クラス	シスター セリン	聖書の読んだ箇所の各人の感想と シスターの解説	みこころセンター(052-971-0334) 地下鉄 桜通線、名城線 久屋 大通下車 (2番出口より北へ徒歩3分) 第2月曜日 10:30~12:30 祭日は休講	加藤真理子(2E)
-------	-------------	----------------------------	--	-----------

※各クラス参加費は学期毎に1,000円。(但し聖書クラスは除く)

※各クラスプリントのみ御希望の方には、実費にてお送りいたします。

※御質問もしくはお申し込みは各責任者まで。

※新しいクラス開設について御希望がありましたらマリアンハウスまでお寄せ下さい。

講読クラスでは、昨年度、下記の記事を読みました。

- 4月 "Step Light up"
(the excesses of Democratic fund raising)
- 5月 "Times 25 Most Influential Americans"
- 6月 "Power" (Prime Minister Blair)
- 7月 "The Soul of New Machine"
(Hong Kong Handover)
- 9月 "Power Politics" (Civil war of Cambodia)
- 10月 "Seeker of Souls" (Mother Teresa)

- 11月 "Why we need the Fig Wasp?"
- 12月 "Smashing Camelot"
(Scandal of J.F.Kennedy)

英会話クラス昨年度トピック

昨年度内容

- ・タイガー・ウッズ (プロゴルファー)
- ・ダイアナ元皇太子妃
- ・ホンコン返還
- ・ハローウィン・サンクスギビングデイ、
- クリスマス、お正月
- ・その他

'A HAPPY NEW YEAR' of READING TOGETHER
with Sister Maureen Brinker

同窓会アフティ

Here is a question you might like to think about: Do NDWC alumnae continue to read literature after graduation even in English? Here also is a more generalized statement for your consideration: "Reading together is a social activity, an effort to read ourselves-culturally" (American poet Adrienne Rich).

Culturally? - we should ask. What does that mean?

The English philosopher Alfred Whitehead defined culture as "...activity of thought and receptiveness to beauty and humane feeling" (Aims of Education). It is in this context that we can "read ourselves-reading." We take our reading of literature as an insight to how we live now, how we used to, or how we want to. Our attention is drawn to how words and situations shape behavior and relationships, form values and weigh priorities. As Rich explains, reading makes us see what it is to be woman / man in a particular culture and time: "What we read is not fact but a produced image by which we have been awakened to imagine ourselves."

Happily, I can answer that opening question affirmatively for it has been one of my great pleasures to hold Alumnae 'reading together' classes-in English-for many years now. We tend to read short fiction mainly, mostly British and American, but we have also 'read ourselves' in works by Maupassant, Chekhov, and Tolstoy. Our reading menu for the classes now underway will be selected from the following short stories, each of which has a video version which we will take time to view together after our reading: You would be most welcome to join us.

- Ring Lardner's "The Golden Honeymoon"
- Katherine Anne Porter's "The Jilting of Granny Weatherall"
- Saki's (Hector Munro) "The Open Window"
- John Updike's "The Music School" / "Pigeon Feathers"
- D.H. Lawrence's "The Horse Dealer's Daughter"
- Sherwood Anderson's "I'm a Fool"
- Mary E. Freeman's "The Revolt of Mother"

ND日本文化研究会

森 美都子 (gE)

ND日文研は、今年度六回研究会をもちました。

五月十九日銀閣寺において、義政公の持仏堂であった東求道(国宝)の中へ特別にお参りさせて頂きました。同仁斎は草庵茶室の原型とされ最古の書院造り。芸術三昧の余生を過ごした義政公の気持ちになりただ静かに正座して庭を眺めました。

五百年の文化の粋を感じました。

六月十六日 雨上がりの緑の美しさの中、桂離宮へ参りました。ここはまさしく別天地。当時宮

人らは移り変わる景色を鑑賞し舟遊びで茶亭を巡り優雅な一時を過ごしたに違いありません。そんな心持ちになれる一時間でした。

七月二十六日には年一度の虫干しに金剛能楽堂へ。展覧は多数の代々の能装束、面、扇など詳しく説明がございました。

九月二十九日に尊氏の創建した等持院へ参りました。夢窓疎石の作庭芙蓉池は手入れが行き届き又西庭にある茶室清澗亭は義政公の建立でありました。霊光殿には足利家代々十四代の本像が安置され、これらには驚きました。川勝和尚様の文化論を方丈にて興味深く拝聴。

十月二十日にはついに金閣寺ライトアップ。創建六百年目に鏡湖池に映し出された景色はこの世のものとは思えない美しさでした。

十一月十五日、地下鉄開通で醍醐寺、三法院へ。国宝の金堂、五重塔を拝観、金堂内部を特別に和尚様にご説明頂きました。三寶院では天下人秀

吉の権力の偉大さにつくづく感心致しました。以上六回の見学で国宝文化財に直接触れることが出来ました。また来年楽しく集いましょう!

聖書クラス紹介

宮井 順子 (gE)

去年十一月にあったクラスの内容を、具体的に述べて聖書のクラスの紹介をいたします。英語の聖書の箇所を皆で読んだ後、シスターから一応の説明があります。今回はマテオ24章の36-51を読み、特に "You must be prepared" と "The Son of Man is coming at the time you least expect" という言葉を中心に話し合いました。キリスト教では十一月は「死者の月」なので、私達も「死」について考えてみました。「死」は、ぬす人のように、こっそりと突然やって来ます。そのような時、私達はシタバタせず死を受容出来るでしょうか。ここで一同、ワイワイ、ガヤガヤと各自感想を述べました。来し方を振り返り、かなえられなかったことどもを思ってから後悔と悲嘆、あるいは怒りの感情にとらわれがちでしょう。しかし、自分の限界を受け入れ、ありのままの姿を認めることによって、自己の存在に意義を見出し、死をも受容出来るようになるのではないか、などのようなことが話し合われました。毎回参加者は五名前後ですが、活気のあるクラスです。

「目を見ることに飽きることなく、耳は聞くことに満足することがない。

伝道の書 第一章

一緒に活動しませんか

国際交流ボランティア

☆ホストファミリーをありがとうございました。

今回で4回目になりますが、本年は10月31日～11月3日にCIEE (国際教育交換協議会) の留学生10名が京都研修に参加し、3泊を8名の同窓会員宅にホームステイしました。受け入れて下さいました会員とご家族の皆様にご心からお礼を申し上げます。今後とも宜しくお願いいたします。

☆隔年開講科目の「日本語・日本文化論」が、姉妹大学からの留学生を対象に、来る5月24日(日)から6月20日(土)までの四週間、開講される予定になっています。平成八年度に初開講して以来、2度目です。

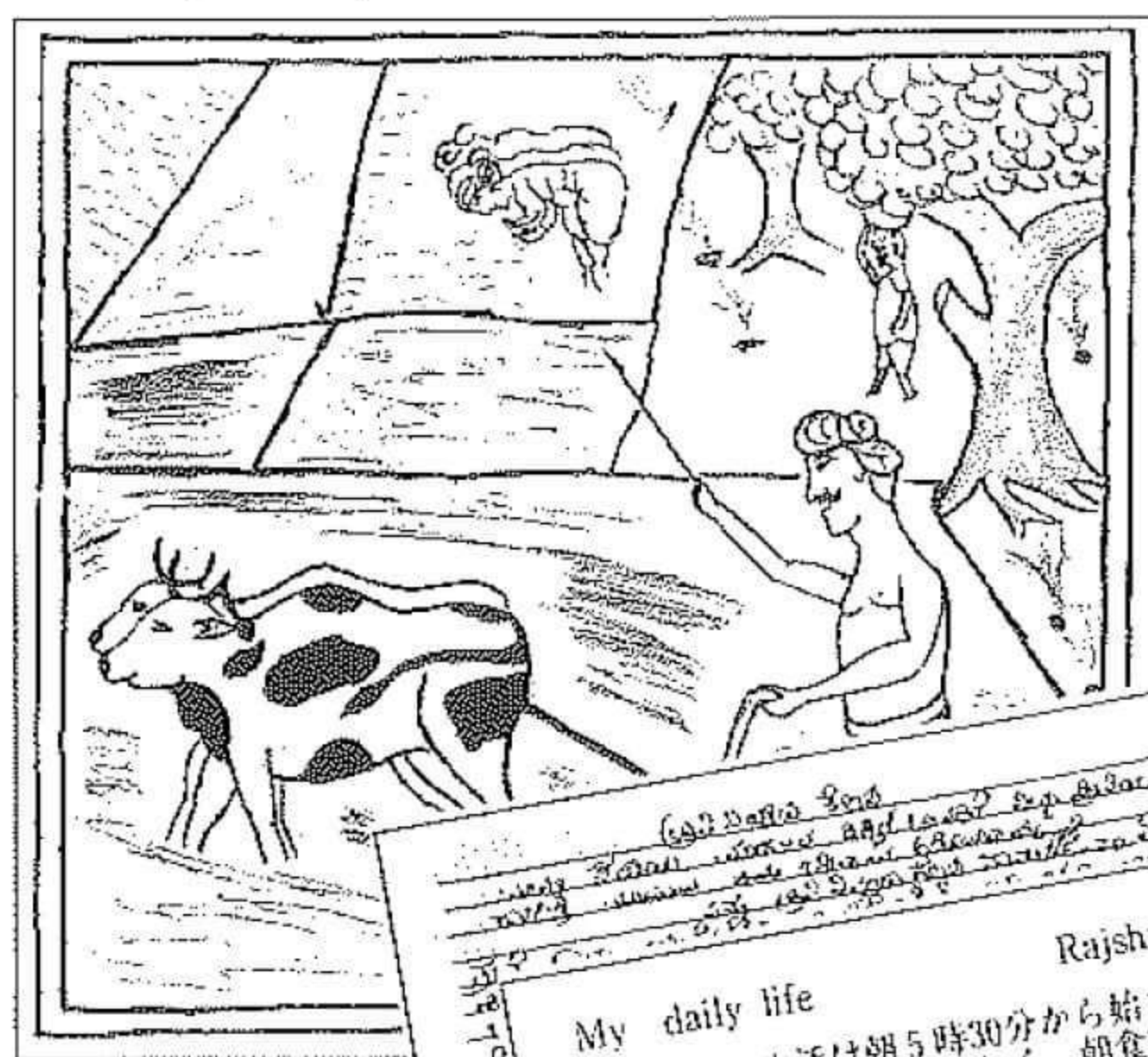
現在、受講生は未確定ですが、今回は、ホストファミリーにならなくても、より多くの卒業生に留学生との交流に参加して頂けるようなプログラムを考えています。例えば、神社仏閣の拝観案内、浴衣の着付け、日本の家庭での作法講習、また、マリアン・ハウスで合宿する留学生の食事の手伝い、手芸講習、散策を共にするなど。興味のある方は、ご一報ください。

連絡先 マリアン・ハウス内 国際交流ボランティア係

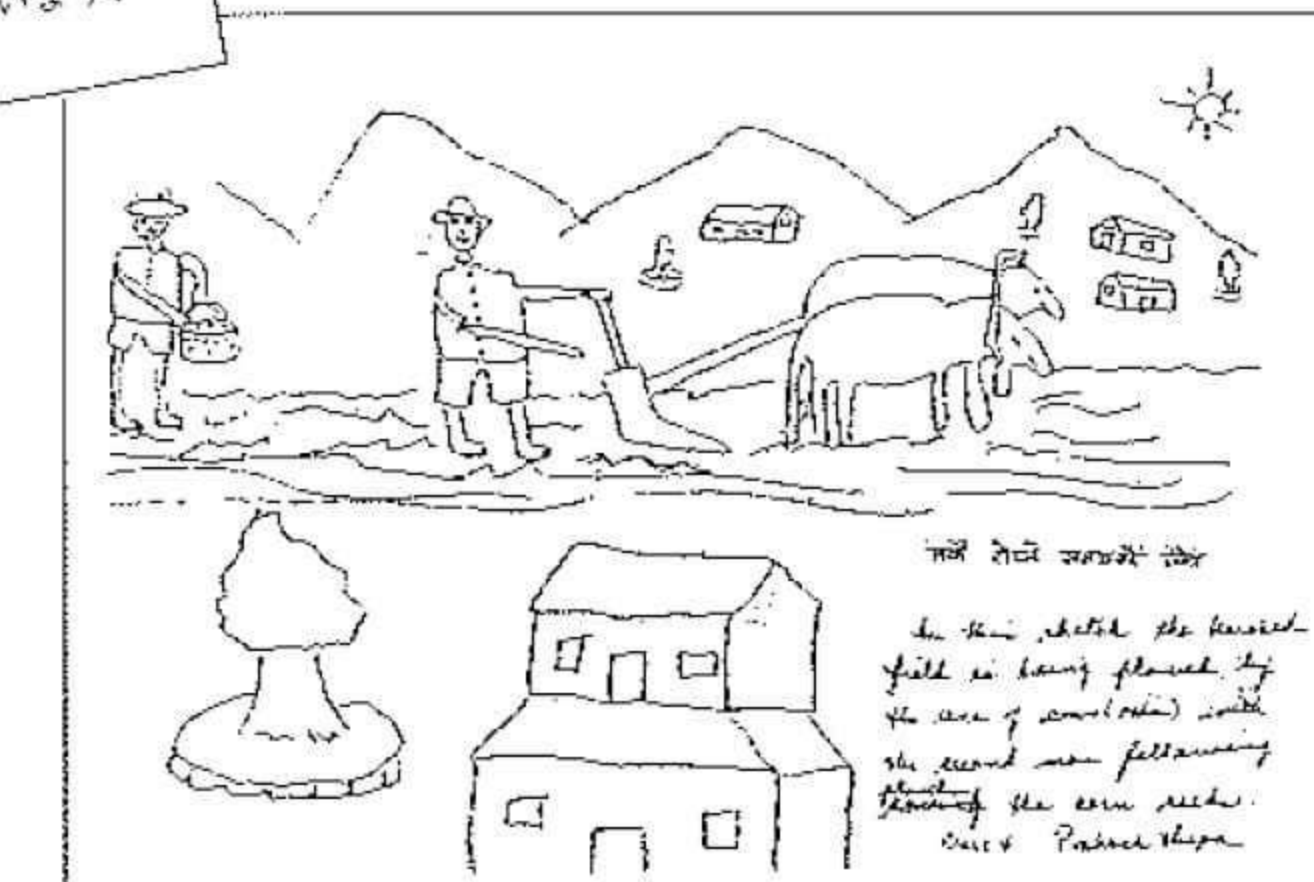
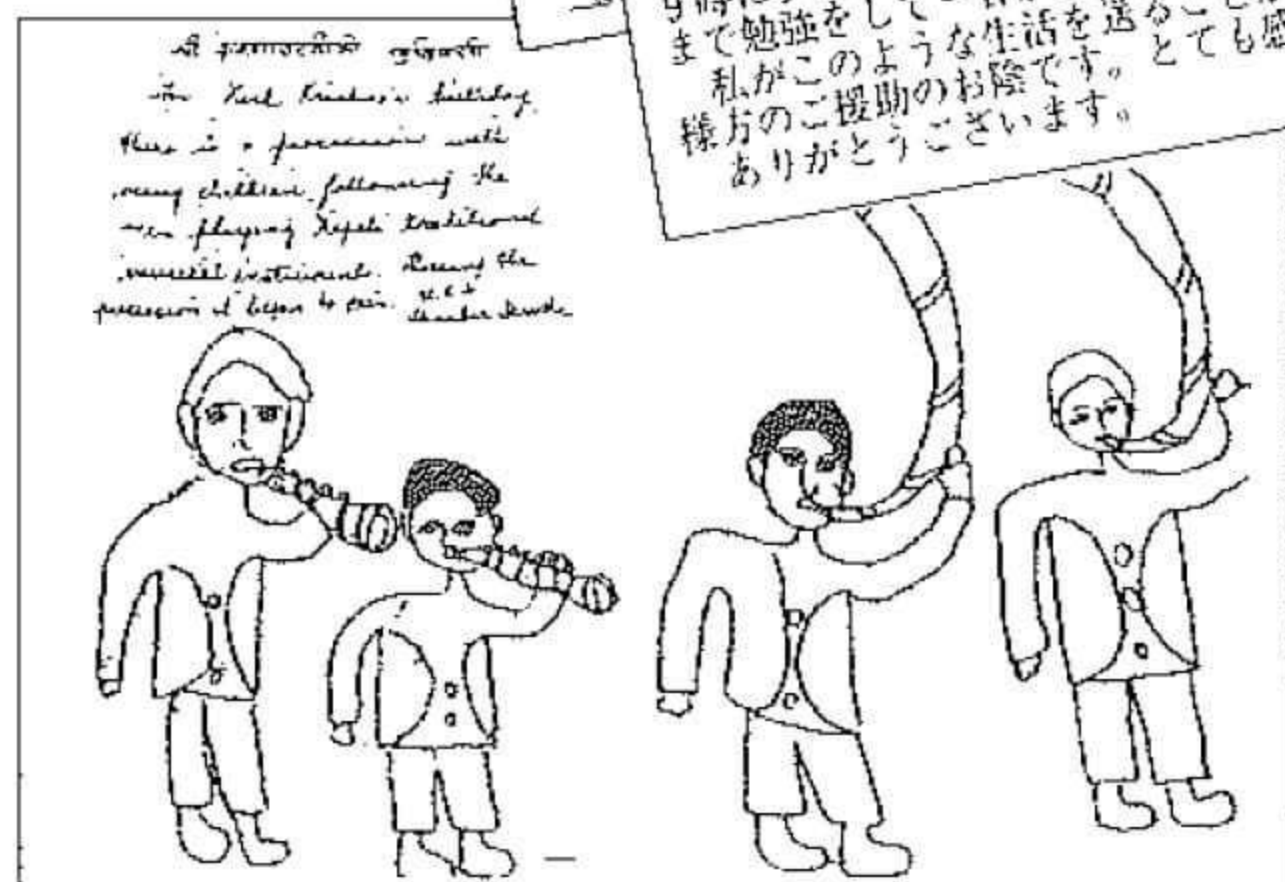
手芸ボランティア

オープンハウスでは、すっかりお馴染みになった手芸ボランティアですが、手作りに興味のある方ならどなたでも、歓迎いたします。マリアン・ハウスまでは、ちょっと遠いという方、あいた時間家なら、という方もどしどし声をかけて下さい。

インド・ネパールからの便り 「友愛の手」活動に御理解御協力を!



○「インドへ友愛の手を」事務局
援助の方法・年間、2000円
郵便振替：000001-134689
TEL：055-701-7338



○ネパールサポート事務局
郵便振替：000001-134689
TEL：055-701-7338

★紙面の都合上掲載出来なかった作品は、総会等各行事の会場にて展示します。

マリアンハウス管理運営委員会報告

同窓会の長年の夢であった同窓会館が建設されてから早や五年がたちました。岩倉の閑静な住宅地にあるわれらがマリアンハウスは、ノートルダム所有の広いグラウンドのそばのレンガ風の洋館で、同窓生寄贈のステンドグラスが美しく映え、母校の香りを漂わせている建物です。ここで同窓会の本部活動をはじめ、会員の為の種々のクラスや講習、講演会、ボランティア活動などが活発に行われています。年に一度、秋のオープンハウスディには、地域の住民の方々やNDファミリーの関係者も御招待して、講演やボランティアによる手芸品のバザー、喫茶が催され、日頃の勉強の成果の発表等をする機会にもなっております。

又、宿泊設備も整っており、これまで延べ80人の同窓生が宿泊されました。クラス会の為に利用された学年もあり、好評をいただいております。昨秋からは、岩倉の国際会館まで地下鉄がつき、交通の便も良くなりましたのでどうぞ御利用下さい。

その他、一日だけの講習会（ステンドグラス、フラワーアレンジメント、お料理、シャドウボックス等）も計画していますので、興味のある方はマリアンハウスまでお問合せ下さい。

尚、当マリアンハウスは現在次の七名の委員によって管理運営されています。御意見、御質問がありましたら、ご遠慮なくお申し出下さい。

中島 克子（1 E） 久萬田澄子（1 E） 服部 万里（2 E） 林 満智子（3 E）
高山 敦子（4 E） 伊吹 佳子（5 E） 西村 晶子（5 E）

マリアンハウスは、N・D女子大学同窓会会員と教員及びND小・中・高校の同窓会本部と教職員以外は使用できません。

会計報告（平成9年2月1日～10年1月31日）

収入：前年度繰越金	4,535,275
同窓会本部	2,000,000
受取利息	3,566
宿泊費	76,000
雑収入	16,000
	6,630,841

支出：予備資金	4,000,000
NHK受信料	27,400
水道光熱費	231,913
通信費	124,296
保険料	103,500
施設管理費	1,097,492
設備費	199,182
文具消耗品	814
イベント費	170,807
雑費	50,300
会議費	13,230
支払手数料	7,246
次年度繰越金	604,661
	6,630,841

使用出来る日時

月、水、金の十時am～三時pm
但し、右記の日時以外でも相談に応じます。

休館日

三月二十日～四月十日
八月十日～八月二十日
十二月二十日～一月十日

使用料（冷暖房費込み、台所使用可）

10:00am～3:00pm

一階ホール	三、〇〇〇円
二階洋室	一、五〇〇円
二階和室	一、五〇〇円
二階和室 八畳	一、五〇〇円

宿泊について（冷暖房付、台所・浴室使用可）

宿泊料 一泊一名 三、五〇〇円

収容人数 十名

チェックイン 三時pm～五時pm

チェックアウト 十時amまで

申し込み方法

二週間前までにマリアンハウスに電話あるいはFAXでお申し込み下さい。

キャンセルは五日前までにご連絡下さい。

それ以後のキャンセルは費用の50%を頂きます。

マリアンハウス

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町六二八

電話番号 〇七五（七〇）九一四九

FAX 〇七五（七〇）九一四九

平成九年度 活動報告

五月

第三十三回総会（於 都ホテル）

総会終了後関東、中部支部委員との懇談会

手芸ボランティア活動開始

各種クラス春期開講

六月

フラワーアレンジメント講習

（於 マリアンハウス）

七月

合同委員懇談会

十月

各種クラス秋期開講

マリアンハウスオーブンデー（講演、喫茶、ボランティア作品展示販売）

CIEE国際交流ホームステイ受入れ（写真右）

同ウェルカムパーティー出席

十一月

大学関係物故者合同追悼ミサ参加

大学祭参加ミニバザー開催（写真左）

関東支部総会出席

中部支部総会出席

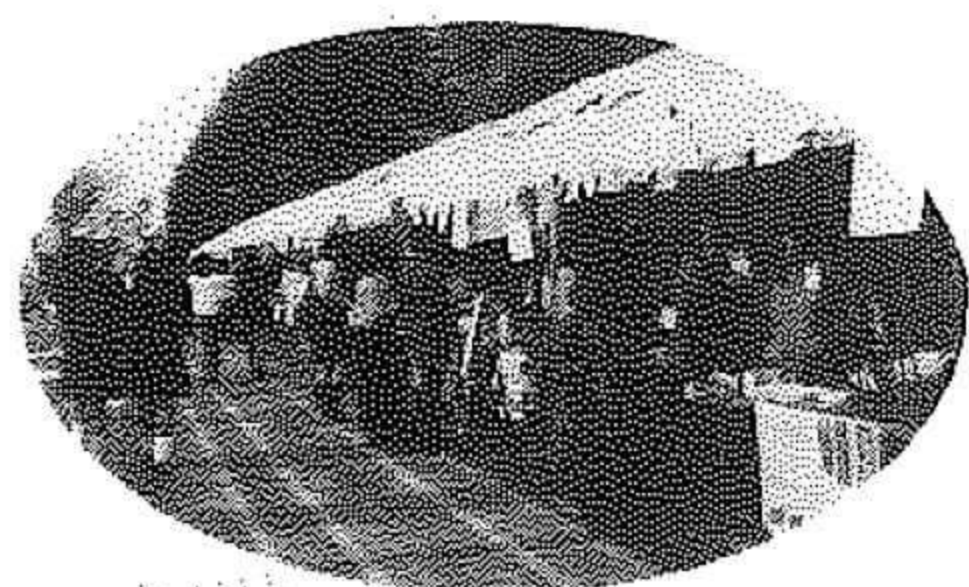
クリスマスリース作り講習

（於 マリアンハウス）

十二月

ノートルダム学園キャンドルサービス

（ユニソン会館）



一月

各種クラス冬期開講

三月

同窓会新入会員への説明会

平成九年度会計決算報告書作成

第三十四回大学卒業式参列

四月

平成十年度大学入学式参列

平成十年度予算案作成

会報「マリアン」第二十八号発行

総会準備

役員会通算十九回

★平成九年度マリアンスカラシップは二名に貸与致しました。

★オーブンハウス・バザーの為の寄贈品をお願い致します。

送り先…マリアンハウス Ⅷ〇七五七〇一九一四九

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町六二八

大学キリスト教文化研究所から

Sr.アナスタシア

「ガイアシンフォニー三番」という映画を見まし

た。一昨年亡くなったカメラマン、星野道夫さん

の心の軌跡をたどり、次々に彼の友人たちが紹介

されました。映像も音楽もきれいでしたが、何よ

りも登場する人々の人間としての美しさに感動さ

せられる映画でした。秋にキ文研として、この映

画と監督の龍村仁さんのお話を計画したいと考え

ています。その時は是非御覧下さい。この映画と

の出会いによって人生を変えられる人も多いので

はないかと思えます。

大学図書館利用案内

閲覧受付時間 午前9時～午後4時

貸出冊数 3冊 貸出期間 1ヵ月

☆在学生を優先しますので、期限内でも返却して

いただくことがあります。

☆休館日、開館時間の変更があります。前もって

開館をご確認下さい。

☆蔵書、特に洋書の有無は、FAX（〇七五―七

二二―四一二八）でお問合せ下さい。

訃報

御冥福を心からお祈り申し上げます。

（2E）宮本 菊代様 帰天 '97・8・24

（3E）須永美恵子様（旧姓橋本） 帰天 '98・5・11

（6E）山内 泰子様（旧姓市古） 帰天 '98・11・21

（7E）岡崎 綾子様（旧姓滝上） 帰天 '98・7・11

編集後記

34周年を迎えた同窓会——会報も、今年は28号、

花も実もある内容に——と、企画に工夫を凝らし、

出来るだけ幅広い地域、年令層の会員にご登場願

うことになりました。大学とも新しいトピックで

のジョイントを試みました。多大の御協力を頂き

ました皆様方に、心より御礼申し上げます。

何しろ広報担当初体験——息切れ寸前での発行と

なりましたが、如何でしたか。是非、ご感想、ご

提案をお寄せ下さい。

T.A.（4E） Y.I.（4E）